

平成27年度鶴岡市国民健康保険運営協議会

第4回 会 議 録

I. 日 時 平成28年2月5日(金) 13:01~14:15

II. 場 所 鶴岡市役所 委員会室

III. 出席状況

		出 席	欠 席
委 員	被保険者代表	難波篤、齋藤勝、榊原英樹、齋藤邦夫、三浦英喜	
	保険医代表	福原晶子、佐久間正幸、迎田健、長井忠男	伊藤末志
	公益代表	今野美奈子、加藤鑛一、秋葉 雄、岡村正博、齋藤久	
	被用者保険代表	鈴木修	
	計	15名	1名
市 側	山本副市長 相沢健康福祉部長 関係課長等 本 所 佐藤国保年金課長、五十嵐課税課長、白幡納税課長、原田健康課長、増田成人保健主査 藤島庁舎 叶野市民福祉課長 羽黒庁舎 庄司市民福祉課長補佐 榊引庁舎 山口市市民福祉課長 朝日庁舎 佐藤市民福祉課長 温海庁舎 石塚市民福祉課長 国保年金課職員(秋庭補佐、菅原係長、本間専門員、渡部主事) 計 16名		

IV. 議事概要

1. 開 会 進行：国保年金課長
 2. 会長あいさつ
 3. 会議録署名委員の指名
会長より齋藤邦夫(被保険者代表)、佐久間正幸(保険医代表)の両委員を指名
 4. 報告
 - (1) 平成28年度国民健康保険制度の改正等について
国保年金課長より説明
- ▼質問・意見
なし

(2) 鶴岡市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）について

健康課成人保健主査より説明

▼質問・意見

加藤鑛一委員（公益代表）

データヘルス計画は、鶴岡市全体の計画となっているが、旧町村単位あるいは地区単位での分析は可能か。

健康課成人保健主査

データヘルス計画は、鶴岡市全体として取り纏めている。地域毎のデータ抽出も可能であるが、今回の計画では地域毎の比較検討はしていない。今後、地域の特性や地域毎に比較検討し評価していく。

加藤鑛一委員（公益代表）

鶴岡市は東北一広いことから生活習慣や地域の状況が違ってくるので、地域状況や疾病の状況を把握し対策を立ててもらいたい。

5. 協議

(1) 平成28年度鶴岡市国民健康保険税について

国保年金課長より説明

▼質問・意見

加藤鑛一委員（公益代表）

平成27年度の保険給付費が、前回の財政見通しの87億円から88億円に大きく伸びた理由はどのようなことか。

国保年金課長

保険給付費の伸びた理由について分析している。一つは、昨年5月にC型肝炎の薬剤、1錠6万円、3ヶ月で540万円程度の高額なものが保険適用になり、その後さらに1錠8万円のC型肝炎の薬剤が保険適用されている。このことは国保新聞にも掲載されている。その他の理由として、昨年、県立鶴岡病院がこころの医療センターとして茅原に移転している。このことにより加算等の影響で医療費単価が高くなっている。また、入院患者の中で日本海病院に掛かっている方が多くなっており、荘内病院よりも医療費単価が高い状況となっている。今申し上げたことがらが重なり合って増えているものと考えている。具体的に前年同期と比べ、8月が4,000万円、9月が6,500万円、10月から2,000万円、1月が5,000万円増えており、8月から1月までの6ヶ月で保険給付費が約2億円増えている。さらに2月分も同程度増えている状況にある。この医療費の伸びは異常なものと考えており、いま申し上げた理由のほかに、何か原因がないか分析していく。

加藤鑛一委員（公益代表）

1月20日号の国保新聞で9月分の日当りの調剤の伸びが10.2%になっており、C型肝炎の治療薬が影響しているということであった。入院患者が荘内病院から日本海病院へ移っていることについては、鶴岡地域で治療できるようにしていけたらと思う。荘内病院では平均在院日数を短縮していることが要因ではないか。これは、鶴岡地域で医療連携が進んでいないことが原因で指導も必要ではないか。

▼採決

原案承認（挙手多数）

(2) 平成28年度鶴岡市国民健康保険事業計画（案）について

国保年金課長より説明

▼質問・意見

なし

▼採決

原案承認（举手全員）

(3) 平成28年度鶴岡市国民健康保険特別会計予算（案）について

国保年金課長より説明（事業勘定）

朝日庁舎市民福祉課長より説明（直営診療施設勘定）

▼質問・意見

加藤鑛一委員（公益代表）

平成28年度予算では県支出金が92,531千円の減となっている。第2回国保運営協議会で共同事業による約2億円の拠出超過分が900万円程度に圧縮されるという説明があったが、県支出金が減となるのはどうしてか。

国保年金課長

ここでは共同事業の減と記載しているが、財政調整交付金は1号が定率6%、2号がそれ以外のものとなっている。ここでは予算ベースでの比較をしているため、決算見込みとは少し違ってくる。

佐久間正幸委員（保険医代表）

上田沢診療所と大網診療所を比較して、大網診療所の方が外来収入は多くなっているのに、何故、繰入金は大網診療所の方が多いのか。

朝日庁舎市民福祉課長

大網診療所のほうで職員の人件費をみており、これにより歳出も増えているため繰入金も多くなっている。

加藤鑛一委員（公益代表）

先ほどのC型肝炎の新薬は高額医療費共同事業に該当すると思うが、80万円を超える部分は国が25%、県が25%、市町村が50%負担することになるが、高額医療費は国保そのものに影響することはあるのか。

国保年金課長

高額医療費共同事業は、いわゆる再保険の仕組みとなっている。国・県の負担は増えることになるが、高額医療費が増えると拠出金も次年度以降、増えることになる。

▼採決

原案承認（举手多数）

(4) 国保関連予算の補正について

国保年金課長より説明

▼質問・意見

佐久間正幸委員（保険医代表）

先ほどのC型肝炎の新薬は、来年度、薬価改定があり半分ほどに下がるが、そこまでは計算していないのか。

国保年金課長

新薬の価格が半分になるという情報は、つい最近あったが、現時点では当初予算等を含め反映させていない。

加藤鑛一委員（公益代表）

国保税の大きな減額について、庄内地区国保運営協議会研修会で各市町担当課長は、米価の引き下げが大きく影響していると言っていた。鶴岡市の場合、他市町と比べ農家の割合はそれほど大きくないと思うが、やはり米価の引き下げが一番大きく影響しているのか。

国保年金課長

平成27年度の国保税は、平成26年の所得を基にして計算している。米価が相当に下がっている状況で、課税所得についても下がっていることから、主な要因と考えている。

▼採決

原案承認（挙手全員）

(5) その他

なし

6. その他

副市長あいさつ

7. 閉 会

議 長

会議録署名委員

会議録署名委員